

平成21年4月第4回臨時会（まちづくり自律プラン作成について）

留寿都村との合併協議が実現できなかつたことを受け、小規模町村を取り巻く厳しい行財政状況の中において、本町が単独の町として、どのような考え方でまちづくりを進めていくのかを示す「自律プラン」作成についてご報告いたします。

まず今回作成する「自律プラン」については、当面本町が単独町として存続が可能な財政運営をお示しすること。それと併せて、将来にわたって新たなまちづくりへ希望を持つための種をまき、「地域活性化」についても盛り込んだものとしてまいりたいと考えております。

このため、自律プランの計画期間については、平成21年度から平成23年度までとし、長期的に取り組むものについては、第5次総合計画に盛り込んでまいりたいと考えております。

地域の活性化については、留寿都村との合併協議の中でも、まちづくりの一つの柱となっていた札幌市特に南区との連携、協力を重点を置いた取り組みを進めてまいりたいと考えております。

札幌市南区とは、これまでも交通安全等で交流があり、南区の代表者と水面下での対話がありました。

さる4月20日に南区長のもとを訪問し、南区が取り組んでいるシーニックバイウェイの認定課題や経済交流、観光連携について意見交換を行ってまいりました。南区におきましても隣接する本町との連携は重要な課題として認識されており、具体的な取り組みについて検討を進めてまいりたいと考えております。

この交流については、後志地域における本町の位置づけにとって重要なものと考えており、「自律」の一つのテーマとしていきたいと考えております。

また、本町が取り組もうとしている「自律プラン」を含めたまちづくりを、大学等研究機関の研究テーマとし、互いの交流によって、本町は職員及び町民の人材育成を、大学等は変化に対応する自治体の研究を目標とするため連携を進めて参りたいと考えております。

このため、北海道の地方自治を総合的に研究テーマとして北海道大学に設置されている北海道大学公共政策大学院や他の高等教育機関の協力をいただき、自律プラン作成委員会委員との交流や町民向けの勉強会の開催などに取り組んで参りたいと考えております。

なお、これまで職員が中心となり「町財政の展望」「集中改革プラン」「財政運営に関する基本的な方針」を作成してまいりましたが、次期総合計画の基礎的構想としたいため、より広く、深くを目標に進めてまいります。そのため、今後の進捗によっては予算化も考えておりますので「まちづくり自律プラン」の方向性がまとまりましたら議会にご相談を申し上げたいと考えております。

自律プラン作成委員会については、5月下旬に第1回の委員を開催するよう、連休明けには委員の選任及び公募等を行って参りたいと考えております。作成委員会は町民の皆様からの様々なご意見をいただくため、公募を含めて15名程度の委員により構成してまいりたいと考えております。

以上、自律プラン作成の現状と考え方をご報告とさせていただきます。